

早稲田大学インクルーシブ教育学会 第2回研修会

2024年9月8日(日) 9:00~12:00

令和6年度 実践報告会

早稲田大学インクルーシブ教育学会では、理論的な研修のみではなく、学校現場でのインクルーシブ教育の実践を報告する場として「実践研究報告会」を行っています。今年度は3名の先生方から、それぞれのフィールドでの実践をご紹介します。今年も皆様といっしょに学ぶ機会をもてることを楽しみにしております。



題目：生徒支援における諸問題について一聴覚に障害のある生徒の受け入れの事例から一

内容：平成29年4月に島根県内で初めて、人工内耳を装着した生徒を普通科の県立高校に迎えた。4年前に、特別支援教育コーディネーターや保健主事として障害のある彼女と出会い、学んだことを支援に関わる内容を中心に整理した。今改めて、彼女との3年間を振り返りたい。

発表者：毛利 徹生

所属：公立高等学校 教諭

題目：「企業における体験学習の意義の検証—アドベンチャー教育の実践を通して—」

内容：企業に対して、アドベンチャー教育の研修プログラムを実施し、体験学習を基盤としたアドベンチャー教育プログラムによって意識変容もしくは、行動変容に対する効果があるかを検証した。因子分析結果、モチベーション、承認得点、被侵害得点、ソーシャルスキルにおいて体験学習の効果が立証されその組み合わせから7つの因子が抽出された。

発表者：鎌田 学

所属：まなび創造アカデミー

題目：「英語の学習方略指導による効果の検討—認知特性に応じた指導を通して—」

内容：英語学習に躓きのある中学1年生に対して、KABC-IIをとり継次処理と同時処理に分けた。それぞれの処理にあった教材プリントを作成し、英語の学習支援を実施した。その効果の検討と、KABC-IIではかることのできる認知特性と英語学習との関連性を検討する。

発表者：福重 蒼唯

所属：早稲田大学大学院教育学研究科

【日時】 2024年9月8日(日) 9:00~12:00

【場所】 ZOOMによるオンライン研修

【参加費】 会員：1000円(早大生：無料、学外生：500円)

一般：3000円(早大生：1000円、学外生：1500円)

【申込方法】 QRコードよりフォームに記入をお願いします。

【締切】 2024年9月2日(月)

【お問い合わせ】 dev-dis-office@list.waseda.jp (学会事務局)

